文教福祉常任委員会

議案第34号　一般会計予算について

質疑 鹿島区で実施してきた地域福祉計画について。自ら地域を守り作っていく福祉計画が実施されてから3年が経過し、その実績の成果を他の区にも広めることについて伺う。

答弁 鹿島区では、平成17年から地域福祉計画を策定し、各行政区で地域福祉推進事業の団体を構成し、実績報告から大きな成果が挙がっている。南相馬市全体に広めることについては、現在始まっている。まちづくり委員会をベースに今年度から具体的な計画を立て、取り組んでいく。

質疑 障がい者自立支援費の中には多くの事業がある。福祉は、一人一人の優しい心で支えあっている。それら人の心を育てていく基礎的な部分から、どんな目標を持って施策を展開しているか伺う。

答弁 本市では、19の事業があり、障がい者に対する事業は多岐にわたっている。自治体としての障がい者に対するあるべき姿・方向を示し、地域も障がい者も相互に地域に慣れることをモットーに、各種のネットワークを通して支援していく。

質疑 健康診断事業について。今や三人に一人、将来的には二人に一人が癌で亡くなると言われている。診断方法には、内視鏡・マンモグラフィー・バリウム等があるが、PET（陽電子放射断層撮影）の施設を持つ考えがあるか。

答弁 PETの施設の持っているのは、郡山市に代表される。南会津と相双にはない。国では、癌の拠点病院を作る方針を示していることから、県に対して強く意見を述べていく。

質疑 教育行政評価委員7名を選ぶ際の条件について。

答弁 資格について限定されるものはないが、学識経験者で、義務教育、生涯学習、生涯スポーツ、文化などに携わった者の、3区から1名ずつで考えている。また教育行政を評価することについては、きちんとした目的、あるいは施策に反映されることが基本にあるべきであり、評価については、地域の特性に合わせた教育行政を展開するため、PDCAサイクルで、計画・実行・評価をし、改善しながら教育改革に努める。

質疑 本市の学校教育を大きく特徴づける予算が並んでいるが、成果はどうか伺う。

答弁 智・徳・体のバランスの取れた児童生徒の育成を大前提に掲げ、様々な取り組みを進めており、成果も挙がっている。県よりも先に取り組んでいる事業として、スクールサポート事業、就学サポート事業は成果が挙がっている。

審査の結果、原案の通り可決。

議案第9号　南相馬市戸籍など無料証明に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第10号　南相馬市ひとり親家庭医療の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第11号　南相馬市重度心身障がい者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第13号　南相馬市後期高齢者医療に関する条例制定について

議案第14号　南相馬市部設置条例及び南相馬市訪問看護事業手数料条例の一部を改正する条例制定について

議案第16号　南相馬市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

議案第35号　平成20年度南相馬市国民健康保険特別会計予算について

議案第36号　平成20年度南相馬市老人保健特別会計予算について

議案第37号　平成20年度南相馬市介護保険特別会計予算について

議案第38号　平成20年度南相馬市育英資金貸付特別会計予算について

議案第40号　平成20年度南相馬市介護サービス事業特別会計予算について

議案第46号　平成20年度南相馬市後期高齢者医療特別会計予算について

質疑 4月から後期高齢者の医療制度が導入されることにより、年金受給者の方の生活への影響について伺う。

答弁 これまで、国保と同じように7割・5割・2割の減免があり、保険料については資産割が入っているので、試算では国民健康保険税より若干負担が軽くなる。

議案第59号　福島県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体を組織する地方公共団体数の減少及び同組合規約の変更に関する協議などは、

審査の結果、原案の通り可決。

議案第62号63号64号　工事請負契約の締結について

質疑 地元の工事業者を使う方向で進められなかったのか伺う。

答弁 地元業者の参加できる環境を残しながらも残念な結果となった。

▲栄町柔剣道場

一般質問

3月10日・11日・12日

質問順に掲載しています。
また、内容は紙面の都合で要約しています。

本市の米政策について

田中一正議員

問 昨年秋、豊作でもないのに米価が大暴落し、今年、減反が増えている。今後の米対策について伺う。

答 米が全国で13万トン余っている。減反は若干の上乗せがあったが、農業は南相馬市の基幹産業であり、あらゆる手段を講じて、支援をして行く。

問 有機栽培米、特別栽培米の販売戦略について伺う。

答 有機栽培米については生産者独自のルートで、高値取引をしている。特別栽培米については売れる米作りと言うことで、推進している。

問 特別栽培米に関しても通常より、高い肥料を使い、手間をかけて栽培しているのだから、早く売りぬけるためだけでなく、品質が上がっている分、ブランド化をはかり、高値販売は出来ないのか伺う。

答 JAの問題でもあり、JAとの定期協議会の中で提案して行く。また、農業振興プラン等の作成の中で総合的に検討して行く。

問 直播栽培米について伺う。

答 省力化栽培で規模拡大が容易であり、今後も推進して行く。

問 直播の特栽化について伺う。

答 JAと協議を進めて行く。

▲田園風景

子育てのまち南相馬市に

渡部寛一議員

問 4月から保育園と幼稚園業務を一元化します。これは、お金をかけない子育て行政の考えからきているのではないのか。

答 そうではない。

問 市立保育園6園の職員143名中、非正規職員が69％を占めている。

子どもの命を預かるのに、責任のもてる体制といえない。更に、低賃金の職員を増やして格差と貧困を市自らが拡大している。

答 合併協議で新たな雇用をしないことにした。今後は、保育所の民間委託を考えている。

問 民営化は安上り子育て行政の最たるものだ。

自治体の責任を投げ捨てて保育を市場任せにすることは、地域や親の経済力によって、子どもの保育に格差をつくる。

全ての子どもに、健やかに育つ権利がある。民営化はだめです。

▲おだか保育所

答 様々な角度から検討していく。

問 保育園には定数を大幅に上回る子供が入っている。今やるべきは、定数増だ。

答 幼稚園との調整もある。

南相馬市の戦略産業を目指して

西　一信議員

問 とどまるところを知らない中国製食品の毒物汚染があります。国民の94％が食に不安を持っています。また、行政の対応では51％が責任を果たしていないとの事です。最も望むことは、国内の農業を見直し、自給率の向上を計る為に、市独自の基本条例を制定すべきではないか伺う。

答 平成20年に、農林水産振興プランを策定する。その中で対応したい。

▲市立総合病院待合室

問 県立養護学校の鹿島区内誘致について、区内PTA連絡協議会や一万人を超える署名があり、また生徒数についても60％以上が南相馬市に居住していますので、建設を要望すべきと思うが伺います。

答 相馬地方町村会や関係機関などと連携の下、鹿島区への設置を県に要望します。

問 高齢者対策として、肺炎球菌ワクチンの接種に助成制度を設けるべき。肺炎による死亡率はガン、脳疾患、心臓疾患に次いで第4位と高く、他の自治体では実施も見られます。このワクチンは、持病のある高齢者にはより効果があり、5年位持続するようです。実施すべきと思うが。

答 有効性や副作用等も総合的に判断したい。